

# 「生活安心」の政策体系

(分野)

生活安心

(基本方針)

生活安定への支援

暮らしの安心の確保

火葬場・墓地の  
適正管理と  
公衆衛生の向上

(施策)

セーフティネットの充実

市民相談業務の充実

消費者保護対策の充実  
・消費者団体の育成

火葬場・墓地の適正管理

公衆衛生の向上

(主要事業)

・生活保護事業  
・就労支援相談員配置事業

・市民相談室運営事業

・消費者教育推進事業  
・消費生活相談啓発事業  
・食の安全推進事業

・火葬場管理運営事業  
・野々花霊苑管理事業

・畜犬対策事業

# ■施策評価シート

基本方針番号	(11)-1	施策番号	①	施策名	セーフティネットの充実					
施策の概要	市民の、最低限度の生活を維持できない状況に対し、福祉施策等による支援、生活保護制度の適用、また、稼働能力がある人への就労指導を行います。			責任課	社会福祉課					
				記入者	林 良作					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	自立を理由として生活保護を廃止した比率	%	2.0	5.0	5.0	6.6	5.0		5.0	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	就労相談件数	件	235	500	500	430	500		500	
(責任課コメント)	目標値の設定は、第5次草津市総合計画の第1次基本計画に定めた数値に準拠している。									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	平成22年度末における「自立を理由として生活保護を廃止した比率」目標値5%に対して、実績は6.6%であり目標を上回る成果が得られた。これは社会福祉課及び産業労政課に配置している就労支援相談員による就労相談活動が期待通りの成果となったことが要因であると考えられる。同時に就労支援相談員とケースワーカーとの間での情報交換、連携を綿密にするよう心掛けたことも目標達成の一助となったと考えられる。									
評価に基づいた今後の考え	現状で目標を越える成果が得られているので、引き続き現行どおり各事業を継続する。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	目標値は第5次草津市総合計画第1次基本計画に定めている値を準用しており、妥当な値であると認識している。			
事務事業	体系			
	個別内容	就労支援相談員配置事業		
環境・条件の変化				就労支援事業について、現下の厳しい経済・雇用情勢により、就労相談から就職に結びつきにくい環境が生じている。
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い  
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

# ■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
					計画	H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	生活保護事業	社会福祉課	B	計画	1,106,256	1,230,189	1,290,723	***	3,627,168
					実績	1,084,422	1,264,313			2,348,735
2	-	職業訓練センター運営補助事業	産業労政課	C	計画	11,476	11,042	11,042	***	33,560
					実績	11,463	11,042			22,505
3	主	就労支援相談員配置事業	産業労政課	A	計画	2,507	2,512	2,512	***	7,531
					実績	2,259	2,404			4,663
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
					計画	H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	1,120.2	1,243.7	1,304.3	***	3,668.3
	実績	1,098.1	1,277.8			2,375.9
主要事業小計	計画	1,108.8	1,232.7	1,293.2	***	3,634.7
	実績	1,086.7	1,266.7			2,353.4
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

# ■施策評価シート

基本方針番号	(11)-2	施策番号	①	施策名	市民相談業務の充実					
施策の概要	相談員の技量向上を図り、相談を受けた市民生活上の不安や問題の早期解決を図ります。			責任課	生活安心課					
				記入者	富山 正明					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	市民相談室で受けた市民相談件数	件	387	400	400	300	300		300	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	市民相談情報の提供回数	回	12	12	12	12	12		12	
(責任課コメント)	<p>・相談件数は、市民の様々な暮らしの中の不安やトラブル、問題などについて市民相談員が受けた件数で市民生活の実態の一部を示す数値である。また活動指標は毎月1回、不安や問題を抱えておられる市民に広く相談の機会をお知らせするための有効な媒介手段である。</p>									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	<p>・相談件数は、社会経済の事情の変化や多様化、さらには専門相談機関の利用や紹介などによりその増減が顕著に現われている。また、近年は精神疾患や障害者・高齢者などの社会的弱者や若者の相談が増加しており、相談時間数が長くなる傾向が強い。特に、家族関係の相談については21年度151件だったものが22年度は78件と半減した。内訳をみると「離婚・離縁」、「男女間紛争」および「相続」、「遺言」にかかる相談が半減している。その他の相談は多少の増減はあるものの特筆すべきものではない。</p>									
評価に基づいた今後の考え	<p>・市民相談につきましては、個人の困りごとや悩み、市民生活と直結したトラブルなどの相談が中心であり、今後も年約300件前後の相談があるものと予想している。現在の相談内訳では、家族関係の相談が約半数、損害賠償や契約に関する相談、不動産関係の相談がそれぞれ15%で、いわゆる民民の問題が全体の8割を占め、行政や労働関係は10%前後である。これらの状況に鑑み、市民の生の声を受け止めるためには、庁内や行政機関とのネットワークを持ち、問題意識の共有や解決のためのノウハウの相互提供を活かしながら、市民の相談ニーズに丁寧に対応していきたいと考えている。</p>									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	<p>・市民相談室で受けた市民相談件数をH22年度目標値を400としていたが、実績値がこれを下回った。H23、H24では目標値をH22実績値に置き換える。</p>			
	事業	体系	<p>・暮らしの中の不安やトラブル、問題を抱えている市民に専門相談ができる場を提供することにより、安心した生活を営むことができる。</p>	
個別内容		<p>・相談員の技量が本施策の中核を成すものであり、多様化する相談者のニーズに的確に応えることが施策の満足度を高める大きな要因となることから、法律の専門家等の支援を受けながら研鑽と努力が必要となる。</p>		
環境・条件の変化	<p>・都市化による核家族化が進行し、一人暮らしや高齢者世帯等が増加している。このことを原因とした介護や離婚、相続を中心とした家族関係、近隣関係の希薄さによるトラブル増加が見込まれる。</p>			
その他の外的・他律的な事象	<p>・草津市社会福祉協議会「心配ごと相談事業」の開催</p>			
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い  
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

## ■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	市民相談室運営事業	生活安心課	A	計画	614	613	613	***	1,840
					実績	600	603			1,203
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	0.6	0.6	0.6	***	1.8
	実績	0.6	0.6			1.2
主要事業小計	計画	0.6	0.6	0.6	***	1.8
	実績	0.6	0.6			1.2
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

# ■施策評価シート

基本方針番号	(11)-2	施策番号	②	施策名	消費者保護対策の充実・消費者団体の育成					
施策の概要	消費生活行動に関する相談や出前講座など消費者トラブルに陥らないための啓発に努めるとともに、消費者団体の育成・支援を行います。			責任課	生活安心課					
				記入者	富山 正明					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	出前講座等への啓発指導回数	回	13	14	14	16	14		14	
	消費生活相談件数	件	1,027	1,085	1,090	1,044	1,000		1,000	
	「草津市食の安全こだわり宣言」件数(累計)	件	137	200	400	365	600		800	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	消費者情報の提供回数	回	16	13	17	13	13		13	
（責任課コメント）	<p>・啓発指導回数は消費生活相談員が「みんなでトーク」の出前講座として出演した実績を示す数値で、また消費生活相談件数は消費生活相談員3名が面接や電話等で1年間で受けた相談件数である。</p> <p>・「食の安全こだわり宣言」は、消費者・事業者が食の安全を強く意識し、自らの取り組みを「自己宣言」として対外的に表明した総件数である。</p>									
施策の達成度（責任課による定性的評価）	<p>・啓発指導回数は、H22は実績値が目標値を上回っており市民、特に高齢者団体等を中心に消費生活問題に対する関心の高さを示している。また相談件数は、対前年度1.02倍で直近3か年ほぼ同水準で推移している。相談内容としては社会情勢を反映して放送・コンテンツ等が対前年比1.42倍で第一位となり、前年一位の融資サービスを大幅に上回った。</p> <p>・「食の安全こだわり宣言」の平成22年度末の宣言実績は、365件であった。目標の400件に対しては、市主催の各イベントでの啓発活動の成果で概ね達成できたと思われる。</p>									
評価に基づいた今後についての考え方	<p>・現在取り組んでいる「出前講座」や広報くさつ「ハイ！消費生活相談員です」コーナー、「青色パトロールによる巡回啓発」などの啓発活動に加え、昨年の9月に設置した「多重債務等支援ネットワーク会議」を運営することで消費生活トラブル等の未然防止や被害回復、生活再建に取り組む方針である。</p> <p>・「食の安全こだわり宣言」を広く市民に認知してもらい、制度周知と併せ分かりやすい「宣言」方法とするなど、引き続き市民委員会で検討を重ねていきたい。</p>									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	体系	<p>・消費生活相談件数H22年度目標値を1085件としていたが、実績値がこれを下回ったため、H23、H24では目標値を3年間の実績値1000件に置き換える。</p> <p>・「食の安全こだわり宣言」者数を増やせるよう、更なる関連事業との連携を図り啓発を進めたい。</p>		
		<p>・社会の変化や景気の低迷により、相談事案の内容や環境も変わりつつある。常に迅速且つ的確な情報の収集と民法や特商法などの法律改正に対応できる知識の習得、学習の深化が求められる。</p>		
事務事業	個別内容			
環境・条件の変化				
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い  
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

## ■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	消費者教育推進事業	生活安心課	A	計画	2,892	1,900	5,277	***	10,069
					実績	3,389	1,980			5,369
2	主	消費生活相談啓発事業	生活安心課	A	計画	8,134	8,128	8,709	***	24,971
					実績	7,415	8,103			15,518
3	主	食の安全推進事業	生活安心課	A	計画	1,155	1,343	1,592	***	4,090
					実績	1,171	1,209			2,380
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	12.2	11.4	15.6	***	39.1
	実績	12.0	11.3			23.3
主要事業小計	計画	12.2	11.4	15.6	***	39.1
	実績	12.0	11.3			23.3
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

# ■施策評価シート

基本方針番号	(11)-3	施策番号	①	施策名	火葬場・墓地の適正管理					
施策の概要	火葬施設の修繕等も含めた適正な管理を行うとともに、野々花霊苑の適正な管理に努めます。			責任課	生活安心課					
				記入者	井上 博道					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	霊苑管理料徴収率	%	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	火葬件数	件	1126	1070	1150	1203	1200		1250	
(責任課コメント)	霊苑管理料徴収率:野々花霊苑管理料の現年分と滞納繰越分を合わせた徴収率									
施策の達成度 (責任課による 定性的評価)	平成22年度「霊苑管理料の徴収率」100%とする目標に対して、実績も100%で、完全に達成することができた。内容的にも、平成20年度、平成21年度の滞納繰越分合わせて6件分も平成22年度に完納することができた。 これは課として未収金対策を強化し、墓地使用者の所在調査等を長期にわたり継続するなど、徴収活動を継続したことによる成果と考えられる。									
評価に基づいた 今後の考え方	①滞納繰越分は全て完納された状況ではあるものの、使用者の高齢化や、墓地使用者が死亡したまま承継されていない墓地、雑草が繁茂するなど管理が不十分な墓地があるなど、いつ未納者が発生するか予断を許さない状況である。 ②引き続き、徴収率100%を目指すため、墓地使用者へ管理料の納付書を発送する際に、墓地の適正管理や承継手続きのための通知文を同封するなどして、未納者の発生を未然に防止するよう努める。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】					
			責任課による分析		関係課のコメント
指標	徴収率の目標は、平等の観点からも妥当と考える。平成22年度は目標を達成できたが、使用者の高齢化等により今後の達成は困難であると見込まれるので、引き続き100%とする。				
	事務事業	体系			
個別内容					
環境・条件の変化	急速な高齢化により、火葬件数が増加傾向にある				
その他の外的・他律的な事象					
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載					
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細	

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い  
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択



## ■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	火葬場管理運営事業	生活安心課	A	計画	30,191	40,477	80,994	***	151,662
					実績	28,534	37,922			66,456
2	主	野々花霊苑管理事業	生活安心課	A	計画	747	1,064	1,448	***	3,259
					実績	832	1,296			2,128
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	30.9	41.5	82.4	***	154.9
	実績	29.4	39.2			68.6
主要事業小計	計画	30.9	41.5	82.4	***	154.9
	実績	29.4	39.2			68.6
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

# ■施策評価シート

基本方針番号	(11)-3	施策番号	②	施策名	公衆衛生の向上					
施策の概要	畜犬登録・狂犬病予防注射の実施をはじめ、公衆衛生の向上に努めます。			責任課	生活安心課					
				記入者	井上 博道					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	狂犬病予防注射接種率	%	73.7	70.0	70.0	73.9	70.0		70.0	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	狂犬病予防注射接種頭数	頭	3,921	4,000	4,000	3,888	4,000		4,000	
	小動物死骸処理委託件数	件	469	500	500	538	490		490	
(責任課コメント)	狂犬病予防注射接種率:市内の畜犬登録した犬のうち、年度内に狂犬病予防注射を接種した割合									
施策の達成度 (責任課による 定性的評価)	<p>狂犬病予防注射の接種率については、目標の70%を超えることができた。特に22年度は、集合注射の時期に雨天が続くなどして、接種数が少なかったが、飼い主が動物病院で注射を実施されるなどしたことから、前年同様の実績とすることができた。</p> <p>これは、各飼い主に注射の案内や未注射の督促などを継続的に実施してきた成果と考えられる。併せて、注射頭数が減少しているにもかかわらず、接種率が向上しているのは、未注射の督促などを通じて、犬の死亡や転出等の連絡が増加し、名簿の整理が進んだことが原因と考えている。</p>									
評価に基づいた 今後の考え方	<p>①接種率を維持向上させるためにも、飼い主への継続的な啓発が必要である。また、老齢や病気等で注射ができないケースなど、市に連絡がなく把握できないケースもある。そのため、注射の徹底と併せて、犬の健康状態が良くない場合には連絡が必要との周知も進めたい。</p> <p>②接種率はあくまで、登録した犬が対象であるため、未登録の犬は対象外となっている。そこで、草津市への転入者への周知や他の一般飼い主への啓発を引き続き実施し、畜犬登録数の向上にも努めたい。</p>									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	接種率は、伝染病の蔓延防止措置のWHO基準からも、妥当と考えている。			
	体系			
事務事業	個別内容			
	環境・条件の変化		ペットブームや健康志向等により、飼い犬が増加傾向にある	
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い  
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

## ■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	-	衛生害虫駆除事業	生活安心課	D	計画	342	287	287	***	916
					実績	315	247			562
2	-	公衆浴場衛生確保対策費補助事業	生活安心課	D	計画	1,400	1,400	1,400	***	4,200
					実績	1,400	1,400			2,800
3	主	畜犬対策事業	生活安心課	A	計画	2,217	2,323	2,323	***	6,863
					実績	1,957	2,020			3,977
4	-	路上喫煙対策事業	生活安心課	B	計画	3,224	4,776	4,776	***	12,776
					実績	6,203	5,156			11,359
5	-	駅前公衆便所維持管理事業(清掃等)	ごみ減量推進課	A	計画	11,377	9,473	9,473	***	30,323
					実績	9,192	9,287			18,479
6	-	公道等における小動物死骸処理事業	ごみ減量推進課	A	計画	3,669	3,682	3,682	***	11,033
					実績	3,366	3,440			6,806
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	22.2	21.9	21.9	***	66.1
	実績	22.4	21.6			44.0
主要事業小計	計画	2.2	2.3	2.3	***	6.9
	実績	2.0	2.0			4.0
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					